

J R 西 日 本 連 合 第 25 回 委 員 会

組 織 の 団 結 を 深 め 運 動 の 研 鑽 ・ 推 進 を 図 る

J R 連 合 方 針 を 踏 襲 し た 2 0 1 8 春 季 生 活 闘 争 方 針 を 決 定

J R 西 日 本 グ ル ー プ 労 働 組 合 連 合 会 (J R 西 日 本 連 合) は、 2 月 15 日、 大 阪 市 内 で 第 25 回 委 員 会 を 開 催 し、 安 全 確 立、 2 0 1 8 春 季 生 活 闘 争、 長 時 間 労 働 撲 滅 と 実 効 性 あ る 働 き 方 改 革、 組 織 強 化 ・ 拡 大 な ど、 主 要 課 題 に 対 す る 当 面 の 活 動 方 針 を 決 定 し た。

冒 頭、 幹 事 会 を 代 表 し て 荻 山 市 朗 議 長 (J R 連 合 副 会 長 ・ J R 西 労 組 中 央 執 行 委 員 長) が 挨 拶 に 立 ち、「 J R 西 日 本 連 合 に 結 集 す る 組 合 員 と 家 族 が、 安 定 雇 用 を 基 礎 に 社 会 的 ・ 経 済 的 地 位 を 高 め、 将 来 に わ た り 安 心 し て 意 欲 を 持 っ て 働 け る 環 境 を 築 い て い け る よ う、 組 織 の 先 頭 に た っ て 取 り 組 む 」 と の 決 意 を 示 し た う え で、 ① 安 全 の 確 立、 ② 2 0 1 8 春 季 生 活 闘 争、 ③ 労 働 力 不 足 へ の 対 応 と 働 き 方 改 革 の 推 進、 ④ 組 合 員 か ら 信 頼 さ れ る 組 織 の 充 実 ・ 強 化 の 4 点 に つ い て 見 解 を 述 べ、 課 題 解 決 ・ 前 進 に む け た J R 西 日 本 連 合 へ の 結 集 を 呼 び か け た。 J R 連 合 か ら は、 政 所 大 祐 企 画 部 長 と 北 村 公 次 労 働 政 策 部 長 が 出 席 し、 代 表 し て 政 所 企 画 部 長 が 直 近 の 諸 情 勢 等 に つ い て 挨 拶 し た。

議 事 で は、 幹 事 会 よ り 第 26 回 定 期 大 会 以 降 の 経 過 報 告 と 当 面 の 活 動 方 針 案 を 提 起。 活 動 方 針 を 補 強 す る 立 場 か ら 6 名 の 委 員 が 発 言 し、 幹 事 会 か ら の 答 弁 の 後、 す べ て の 議 案 を 満 場 一 致 で 採 択 し た。 と り わ け、 2 0 1 8 春 季 生 活 闘 争 に つ い て は、 J R 連 合 の 方 針 に 則 り、 加 盟 51 単 組 が 連 携 強 化 を 図 り な が ら 公 正 な 成 果 配 分 を 求 め る こ と を 基 調 に、「 賃 金 の 引 き 上 げ 」 「 総 合 生 活 改 善 に む け た 労 働 条 件 の 向 上 」 「 組 織 化 を 含 め た 非 正 規 労 働 者 の 均 等 ・ 均 衡 待 遇 実 現 」 を 柱 に 据 え た 闘 争 を 展 開 し て い く こ と を 決 定 し た。